
ホットニュース(平成16年度／第79号)

●今月の業界ホットニュース／路面電車の復権

根強い愛好者も多く、幾つかの都市では路面電車の再建、維持が市民運動化しつつある。福井市、広島市、岡山市などでは市民が主体となってバスを含む詳細な公共交通マップを作成し、公共交通を利用しやすい環境づくりに努力しているという。

折しも、岐阜市で名鉄の路面電車を廃止する決定がなされたところ、フランスの大手交通会社が路面電車を含めた交通事業への参入を市に打診しているというニュースを見た。日本では路面電車廃止に市民は反応するが、他の事業者が反応するとは考えてもいなかっただろう。詳細は解らないが、彼我の交通事業に対する大きな差を感じる思いである。

岐阜市の人口は約40万人である。ところがフランスは、パリを除くと40万人を超える都市は、マルセイユ、リヨンの2都市ぐらいで、コンパクトな都市が散在し、路面電車の走る街は多い。フランス人から見れば、人口が40万人もいて路面電車が維持できないはずはないと考えているかもしれない。また、公共交通に対する補助金や制度の違いも大きい。

この所以は、都市に対する認識とそれに基づく政策の違いであろう。中心市街地が賑わっていて、これを中心とする公共交通のネットワークはシビルミニマムであり、必要ならトランジットモールを整備したり、自動車交通の規制も辞さない。交通計画のなかで公共交通を考えるのではなくて、都市の活力計画のなかで、交通計画・公共交通を考えてきたということではないだろうか。日本の都市もそうあって欲しいと思っている。

(代表取締役 堀田 紘之)

●十條遊縁市ふたたび

来る11月13日と14日の二日間、JR十条駅周辺で地域イベントを開催します。昨年に続く二回目で、名は「十條遊縁市(ゆうえんち)」。

主催は、まちワークin十条・十條遊縁市実行委員会。共催は十条駅周辺の三つの商店会と(財)北区まちづくり公社。後援は連合町会、近くの二つの大学、北区などで、十条駅界隈の住民や在勤・在学者らが、半年以上もかけて企画して練り上げたイベントです。

13日(土)は、放置自転車クリーンキャンペーン、駅前交通シンポジウム、ゴスペルコーラス、ジャズオーケストラ、アコースティックコーラス、花火大会など。

14日(日)は、フリーマーケット(北区最大の200店舗)、消防署・警察署・NTT・商店会などのイベント・模擬店、ゴム動力飛行機コンテスト、和太鼓、チアリーディング、ストリートダンス、ミオダンス、一人語り琵琶語り、ビン笛コンサート、伝承遊び、プレーパークなど。

詳細は、<http://www.kitanet.ne.jp/~matikita/> をご覧下さい。

(第二計画部 高尾 利文)

●景観緑三法

夏休み前のことでちょっと古い話になりますが、(社)都市計画コンサルタント協会主催の都市懇話会「テーマは「景観緑三法」の制定について」で、講師は国交省都市計画課の清水喜代志氏で伺ったお話のうち、景観緑三法の実務についてまとめてみました。

【条例をつくる】

- ・景観計画に基づく条例の文章は、誰が見てもなんとなく理解ができ、誰もが納得できる文章でなければならないが、扱う対象が景観であることから、非常に難しく高度な作文能力が必要となります。しかし、「整備
- ・保全すべき良い景観とは何か」などの指針を国が示すつもりはないとのこと(あくまでも地元住民とともに景観行政団体が独自に取り決めるべきもので、国が口出すことはないそうです)。

【認定業務】

- ・景観計画区域における届出・勧告や景観地区における認定制度など、建築確認申請のような定量的な判断だけではなく、色彩や意匠などについて裁量性が求められるため、高度な認定能力が必要となることが考えられます。

【支援措置】

- ・この法律による補助金制度はなく、具体的に示されているのは、景観重要建造物が減税されることぐらいです。ただし、事業及び調査の推進費として「調整費等目未定経費：平成16年度200億円」を使うことができるそうです(都市再生の初年度もこの調整費を使って支援したとのこと)。使いづらいお金ですが使い道によっては有効であり、すでに多自然型川づくりの事業費として使いたいという要望が多いとのこと。その他にも残したい建物の買取費の可能性もありそうだったとのことでした。ちなみに施行令や都市計画技術基準については年内には取りまとめる予定だそうです。また、(社)都市計画コンサルタント協会では、協会ニュースの創刊号を11月中に発行する予定となっており、この中で景観法を特集記事として取り扱っております。法の概要、都市計画課長ヒアリング、学識ヒヤリング等充実した内容となっておりますので、是非こちらもご覧下さい。

(第一計画部 五十嵐 淳)

アルメックホットニュース(平成16年10月15日発行)

////////////////////////////////////